

仙名あづさ先生に平成19年度より小学校外国語活動の指導に協力していただいています。  
日ごろ外国語活動の指導に携わって感じておられることを綴っていただきました。

### 「Born this way? Grow this way?」

朝日町外国語活動非常勤講師 仙名あづさ

人間の性格は8割が両親からの遺伝、2割が環境によって形成されるという。私は、それが逆転している。両親も認める遺伝2割、環境8割。

16歳で初めてアメリカ留学した時、まさかのホストファーザーが全米指名手配犯、そしてFBIと対峙という大きなトラブルが付いてきた。おかげで自分の身は自分で守る、そのために英語をマスターするというサバイバル能力が身に付いた。

小学生にまさかそれを望んではないが、英語は日本語と違い自分を解放してくれる力があると、当時から思っている。日本語では言葉にしにくいもの相手に伝えにくいものも、英語ならすんなり言えることが多い。自己表現の幅を広げてくれるものだと思う。

6年生の英語ノート後半では、自分の行きたい国、将来の夢を発表する。ジェスチャーをつけて発表する児童、みんなを楽しませるためにクイズをつける児童、分かりやすくするためにそれぞれ工夫し、よく練習している。発表を聞く児童も大きな声で相槌し、終わりには褒め言葉をかけ合っている。その様子を見てみると、これも英語の「解放力」だと思える。いつもの自分より少し大胆に表現できる自分。

町で会った時「Hello. How are you?」と聞けば、「I'm fine. And you?」と躊躇なく返ってくる。私が一番ニヤリとしてしまう瞬間である。臆することなく英語の挨拶ができる小学生の今後が楽しみでならない。今後みんながどのようにグローバルに活躍していくのか、この基盤をどのように活かしてくれるのかに注目している。

6年生の女の子が年賀状をくれた。そこには踊るような文字で「英語大好きです!」と書いてあった。講師冥利に尽きる一言だった。



### <ニューフェイス紹介>

#### 「教師生活一年目を振り返って」

朝日町立さみさと小学校 教諭 梅津 陽

私が初めてさみさと小学校の子どもたちの前に立った時、教師生活の始まりに期待を膨らませるとともに、先のことが分からない不安で緊張していたのをよく覚えています。担任することになった4年2組の子どもたちは、一生懸命にさみさと小学校のことや、自分たちのことを教えてくれました。さみさと小学校の温かくて元気な子どもたちに出会うことができ、本当に幸せだと思っています。

子どもたちが日々成長していく姿を見る度に、私は感動させられます。校内の長縄跳び大会に向けて練習を始めた時には、記録を伸ばそうとリーダーとして練習の指揮を取り、「もっとこうしよう。」と建設的な意見を出す子どもや、練習の様子をよく観察してアドバイスをする子どもがおり、クラスが団結して活動に取り組むことができました。子どもたちが協力して成長しようとする姿は、とてもいきいきとしていて私もうれしくなりました。その中で、子どもたちのもつ力の大きさに驚き、子どもたちが目標に向かって精一杯努力することができる環境を作るためには、教師としてどのようなことをすべきかを考え、実践しなくてはならないと思いました。

さみさと小学校の子どもたちや先生方からこの一年間でたくさんのことを学びました。何事も初めてのことばかりでしたが、多くの支えがあったからこそ、こうして乗り越えることができたのだと思います。これからも初心を忘れず、一人の教師として、子どもたちとともに学び、成長し続ける気持ちをもち続けていきたいと思っています。

